

【音楽・小2・「くりかえしを見つけよう」】①

育成を目指す資質・能力

リズムの特徴を捉え、反復の面白さを生かしてお祭りの音楽をつくっている。

・本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「リズム」「反復」

ICT活用のポイント

○リズムの特徴を捉えて表現をつくる場面で、**ICT端末上に保存したヒントカード**を使用することで、つくりたい音楽に対する思いや意図を膨らますことができるようにした。

○表現を工夫してつくる場面において、**ホワイトボード機能**を活用し、**音源を埋め込んだリズムカード**を並べることにより、つくった表現を音で再現して確かめ、何度も試しながら、よりよい表現を練り上げることができるようにした。

前時までの学習を振り返り、
本時の学習課題をつかむ。

はんぷくの使い方を工夫して、
おまつりの音楽をつくろう

端末上のリズムカードを4枚選び、おまつりの音楽をつくる。

【ルール】○反復を使う。

○音で確かめながらつくる。

工夫したおまつりの音楽を発表し合い、
反復のよさや面白さを共有・共感する。

学習のまとめをし、本時の学びを振り返る。

事例の概要

○前時までの学習を想起させ、反復のある音楽を鑑賞したり歌ったりしたことで、反復のよさについて考えたことや、その面白さを生かして工夫して表現してきたことを振り返る。

○本時のめあてを提示し、学習の見通しをもつ。

【事例におけるICT活用の場面①】

○反復を用いて、様々なパターンでのリズムの組み合わせ方を試しながら、表現をつくる過程において、**ICT端末上に保存したヒントカード**を使用する。それぞれのリズムから想起したイメージを確かめることで、表現したい思いや意図を膨らませる。

【事例におけるICT活用の場面②】

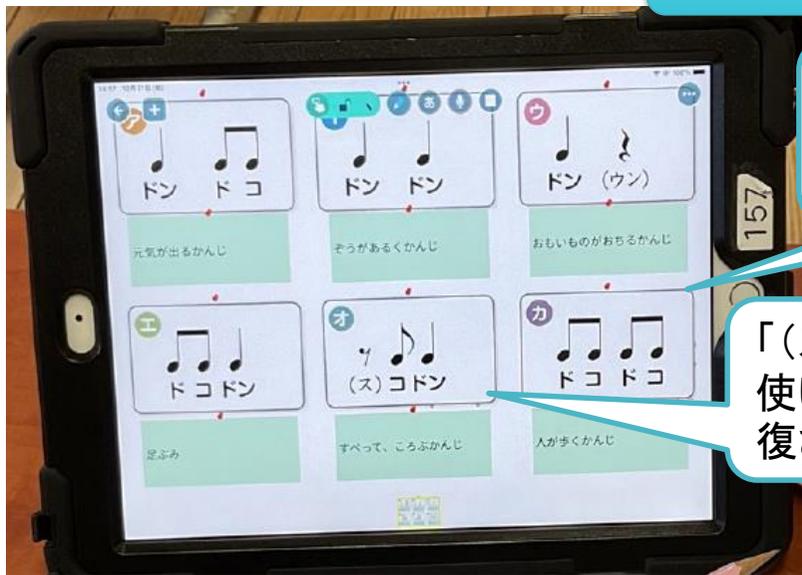
○**ホワイトボード機能**を使用し、6つのリズムパターンを**音源を埋め込んだカード**で示す。カードを並べ、つくった音楽を音で確かめながら、自分たちの思いや意図に合うように、適宜リズムを入れ替えて試す。

○**端末上に並べたカード**を示しながら発表し合う。可視化された表現の工夫に着目しながら発表を聴き、表現のよさや面白さを共有・共感する。

○本時の振り返りをし、次の学習への意欲や見通しがもてるようにする。

【音楽・小2・「くりかえしを見つけよう」】②

【事例におけるICT活用の場面①】 リズムの特徴が生み出すイメージを想起して、おまつりの音楽をつくる活動

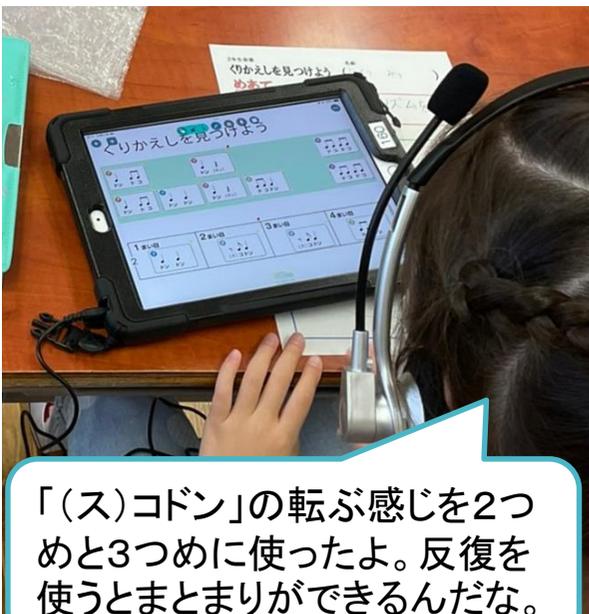


「ドコドコ」の歩く感じを反復させたら面白そうだな。

「(ス)コドン」の転ぶ感じを使いたいな。どのように反復させたら面白いかな。

○追求する過程において、6つのリズムパターンを提示し、それぞれのリズムの特徴が生み出すイメージを想起しながら、リズムの組み合わせ方を考える活動を行った。**ICT端末に保存したヒントカード**を活用することによって、リズムの特徴や生み出されるイメージをすぐに確かめることができ、表現したい音楽への思いをもつことができた。**思いや意図（言語活動）とそれを音で試す活動（音楽表現）を往還させながら表現をつくること**につながった。

【事例におけるICT活用の場面②】 つくった音楽を音で確かめながら試行錯誤し、表現を練り上げる活動



自分で演奏できるように、端末で確認しながら練習



リズムと音を確認

「(ス)コドン」の転ぶ感じを2つめと3つめに使ったよ。反復を使うとまとまりができるんだな。

○**ホワイトボード機能**を活用し、6種類のリズムパターンを1種類ずつカードにしたものを使用した。カードを並べることで、反復の使い方が、**視覚化**できるようにした。また、カードにはそれぞれ**音源を埋め込み**、**リズムを音で確かめながら、音楽をつくる**ことができるようにした。思いや意図に合った反復の使い方を試しながら、リズムカードを選んで並べ、カードの入れ替えがすぐにできるようにした。このような手立てにより、できあがったリズム譜を見ながら実際にリズムを打ったり、表現に込めた思いやイメージを、ペアや全体で共有・共感したりすることができていた。

【活用したソフトや機能】 ・学習支援ソフト ・ホワイトボードアプリ